

## 1. 主旨

少子高齢化の進展による労働人材のひっ迫に伴い、希少な人材の確保とあわせて、その人材の心身の健康を維持することで、労働損失を防ごうという考えが広まっています。

本講習では、健康経営®の概略をお伝えするとともに、職員が健康であることが結果として事業所満足につながることを学びます。あわせて、健康経営優良法人の要件等を学び、他組織の事例を知ることで、自組織の中で取り組んでいくべき事項を具体的に考え、理解することを目的とします。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 2. 開催日程等 \*プログラム G 参照

	第1回
対 象	全職員向け
開催日	11月26日（水）

※受講対象者や開催時間等、受講申込方法等は、P3 各種講習会（後期開催要綱）共通事項にてご確認ください。

対 象：全職員

ねらい：少子高齢化の進展による労働人材のひっ迫に伴い、希少な人材の確保とあわせて、その人材の心身の健康を維持することで、労働損失を防ごうという考えが広まっています。この研修では、健康経営®の概略をお伝えするとともに、職員が健康であることが結果として事業所満足につながることを学びます。健康経営優良法人の要件等を学び、他組織の事例を知ること、自組織の中で取り組んでいくべき事項を具体的に考え、理解することを目的としています。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

時 間	講 習 内 容 ※講義・個人ワーク・グループワークを適宜実施します
12：40	接続開始（音声チェック）
12：55	ガイダンス
13：00	<p><b>1. 健康経営が注目される背景</b>            【ワーク】今、なぜ健康経営が注目されているかを考え、意見交換する            (1) そもそも「健康経営」とは何か                ①「ヘルシー・カンパニー」発刊の衝撃                ②NPO法人健康経営研究会の発足                ③政府による「健康経営」の本格スタート            (2) 経営における人材の位置付けの変化                ①製造業主体の経済では「人」は資源だった                ②知識産業主体の経済では「人」が資本となる                ③資本としての「人」には健康推進のための投資が必要            (3) わが国を取り巻く労働に関する課題</p> <p><b>2. 従業員の健康がES・CSを向上させる</b>            (1) 健康経営における5段階構造            【ワーク】自組織の現状を、健康経営の5段階構造の中で位置付けする            (2) 健康経営からウェルビーイング経営を目指す            (3) ES（従業員満足）とCS（利用者満足）は両輪である            (4) 誰もが「CS（利用者満足）」が大事と思っている            (5) 従業員の健康がCS向上の基盤となる            【ワーク】従業員が健康であることで、組織・利用者にとってどのような効果があるかを考える</p> <p><b>3. 健康経営の具体的な進め方</b>            (1) 健康経営を支援する制度                ・協会けんぽのコラボヘルス                ・健康経営優良法人            (2) 健康経営優良法人の認定要件とは                ①経営理念・方針      ②組織体制      ③制度・施策実行                ④評価・改善      ⑤法令遵守・リスクマネジメント            (3) 認定要件にもとづく施策の進め方                ①STEP1：健康宣言      ②STEP2：体制づくり                ③STEP3：健康課題の把握と対策      ④STEP4：取り組みの評価</p> <p><b>4. 事例から学ぶ健康経営</b>            【ワーク】事例から、健康経営が成功した理由について考える</p> <p><b>5. まとめ</b>            【ワーク】明日から自組織で取り組める健康経営に向けた施策を考え、発表する</p>
16：30	閉 講（終了）

※休憩は進行に応じて（30分から40分ごとに）10分程度の休憩を行います